

令和2年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 S 5 1）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的に学習できる生徒の育成と進路実績の一層の向上を図る。 主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進する。 コミュニティ・スクールとして地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度		目 標			年 度 評 価		実 施 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着し、現役4年制大学進学率は9年連続80%を超えている。</p> <p>【課題】 学校としてのシステムは定着したが、3大課題への取組が必要である。 ①改善に向けたPDCAサイクルの構築 ②生徒の入学時の進路希望と卒業時の進路結果とのギャップを埋めるキャリア教育の構築 ③新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休業など、通常の授業展開が困難な状況の中で、オンライン学習など新しい学習スタイルの構築</p>	<p>授業力向上による確かな学力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業力向上研修等の充実 ICT教育環境の構築 SDGsを活用した「総合的な探究の時間」の実践 生徒・保護者アンケートの実施と改善 新教育課程の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 授業力向上研修会を年3回以上実施 ICT教育環境の整備状況 「総合的な探究の時間」の実践回数と生徒の意識向上 生徒・保護者へのアンケート調査回数と具体的な取組状況 新教育課程の仮提出と完成 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会は3回実施した。オンライン授業の実施のためZOOMの活用方法等を行った。 全HR教室にプロジェクターを設置。生徒のiPad購入。ZOOMの全教員の利用を実施した。 1年生はコロナ禍の影響で実施できず、2年生は2回、3年生は5回実施した。 コロナ禍の影響調査やオンライン授業実施のための調査等を7回実施した。 予定通り、完成に向けて進んでいる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ICT教育のボトムアップはできたが、ネット環境の整備が必要である。保護者へのアンケート等をきめ細かく実施し、生徒、保護者の期待にこたえられるような教育活動を実践していきたい。また、時代の先を読んだ教育課程の作成を目指し、教育効果を高めたい。
2	<p>【現状】 学校行事に対する生徒の満足度は79.2%（市立高平均91.1%）と低いが、部活動に対しては88.5%（市立高平均88.6%）と高い。5つの体験活動（①海外研修②社会探検工房（産業能率大と連携）③海の生物学（東海大と連携）④スポーツテック&ビジネスラボ（NTTデータ経営研究所と連携）⑤グローバル人材育成プログラム（ニュージーランド姉妹校との連携）を軸とした多様な探究プログラムの取組が定着してきている。</p> <p>【課題】 新型コロナ感染拡大防止の取組を踏まえ、安心安全な教育活動、部活動に取り組む必要がある。多様な探究プログラムがあるが、一部恒例化しており総合的な探究の時間等と連携して再構築する必要がある。</p>	<p>学校行事・部活動の充実と安心安全の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性を引き出す学校行事の取組 新型コロナ感染拡大防止を踏まえた安心安全の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性を生かした文化祭等の学校行事が実施できたか。 従来の安全教育と共に、新型コロナ感染拡大防止へ具体的に取り組んでいるか。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響で、多くの学校行事が中止となった。生徒会指導部の教員が中心となり、生徒の自主性を引き出しながら体育祭や球技大会を今までと違った形で工夫して大変有意義に実施することができた。 交通安全教育、コロナ対策を全教員で協力して実施することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍が続くとみて、生徒、保護者の安心、安全を担保する学校行事の実施を考えていき、そのための工夫を積極的にやりたい。
3	<p>【現状】 長年培ってきた近隣の小中学校や自治会と連携により、コミュニティ・スクールとして一定の信頼を得ている。</p> <p>【課題】 本校教育活動への理解をさらに深めていただくために、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりの推進と情報発信が求められる。</p>	<p>保護者、地域に開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 近隣小中学校、辻地区、さいたま市及び南区との連携推進 地域、保護者への迅速な情報発信 学校運営協議会との連携協働の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 連携回数と効果的な情報発信回数 HP更新回数、文書、メール配信回数 学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働を行うことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響でほとんど実施できなかった。 HP更新回数は91回、文書、メールの配信回数は、約6000件配信した 今年度は、コロナ禍の影響で、3回中2回が書面会議となった。十分な議論が尽くせなかった部分もあるが、委員の皆様のご協力でご何とか形にすることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等への情報発信については、紙ベースからデータベースに移行することができたため、次年度以降もe-pa等を使った、きめ細かい、丁寧な情報発信をしていきたい。 地域連携については、コロナ禍の中で、可能なことを模索していきたい。
		<p>危機管理の徹底と組織的な風通しの良い学校運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校危機に対する迅速かつ的確な対応 企画委員会を中心とした学校課題の共通理解と、解決に向けた組織的な対応 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止などの学校危機に対処した対応ができたか。 企画委員会を中心とした学校課題の共通理解と、解決に向けた組織的な課題の検討ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策室の設置、アルコール消毒徹底、健康観察の徹底や素早い情報提供を行うことができた。 企画委員会は28回実施した。直近の課題だけではなく、中長期的な課題についても積極的な意見交換を行い、学校運営に貢献できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する危機管理は次年度もしっかりと行い、学校行事等の実施について柔軟に対応できるように、さらに風通しを良くし、全教職員の協力の元、教育活動を実践していきたい。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和2年 2月19日
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において、授業でのプロジェクター利用やオンライン授業を工夫して実施したことで、8割から9割の保護者、生徒が学力向上やわかりやすい授業であったと回答していることは評価できる。 ストレスのないインターネット回線等の整備を実施してほしい システムエンジニア等の専門職を学校に配置して常にトラブルに対応できる体制を整えてほしい。 教育現場においてICTは手段であって、目的ではないので、情報活用の仕組みや制度を整えて適切な運用を伴わなければ効果が見込めないということを意識しておく必要がある。 	
<ul style="list-style-type: none"> 大学入試の予定が年度途中で変更になる中、適切な情報発信を行い、生徒や保護者の不安を最小限に抑えることができたと思う。 重点目標1について生徒、保護者からの高い評価を得ているデータは、意識の高さがうかがえ、生徒自身の前向きさが数字に表れている。保護者が学校へ期待する質量はとても大きく、もっと発信力をつけてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中で、部活動が時間と場所の制約を受ける中、指導方法を工夫して効率的な活動を行っていた。また、保護者への情報発信も頻繁に行われ、安心、安全の元に部活動が実施されていたと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にあったこの1年間の成果と課題を検証して、いまだ収束が見込めないコロナ禍における生徒主体の部活動や学校行事の姿を思い描き、示していけることが必要である。 今年度自粛された学校行事について、来年度については、安全に十分配慮しながら、可能な限り実施してほしい。 ICTに関する研修をコロナ禍に関わらず、今後も継続してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 保護者にとって、学校へ来ることが難しくなった中、e-paやHPを使って学校の情報を頻繁に発信できたことは保護者の安心を与える意味で大変効果的であった。 中長期的な視点でデータや情報を蓄積し、今後の学校運営に生かすことができるよう連携・協働を基本とするコミュニティ・スクール制度を活用してほしいと思います ホームページの充実がうかがえます。1月の更新が受検生に与えた影響は大きいと思います。 	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、例年通り行事等が進まない中で、ここまで教育活動が滞りなく続けられてきたことに感謝申し上げます。 コロナ禍の中、できる範囲で取組みを充実させようとする学校側の献身的な努力を感じました。 	

